

0歳の予防接種 ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日 スケジュール

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。このスケジュールはNPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。

ワクチン名	接種済み <input checked="" type="checkbox"/>	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
mRNA ワクチン 注射・スタンプ式 臨時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 経口 定期	1価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 注射 任意	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 注射 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													

必要回数を接種するために生後2か月になったらすぐに同時接種を受けましょう。

生後3か月になったらすぐに同時接種を受けましょう。

1歳の誕生日が来たら同時接種を受けましょう。ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・MR・水痘・おたふくかぜの6本を同時接種で受けることもできます。

標準的には3歳から接種しますが、生後6か月から受けられます。

1回目の通常3週間後に2回目、2回目の8週間後に3回目を接種

1価ワクチンと5価ワクチンがあります。初回は遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。

3回目を生後6か月までに受けるようにしましょう。

予防効果を長期にわたって維持するために1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう。

0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけます。

- mRNA ワクチン 注射・スタンプ式 **臨時**
- 不活化 ワクチン 経口 **定期**
- 生 ワクチン **任意**

2023年3月末まで無料(全額公費負担)。(2022年11月現在)

定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

-
-
-
-
- 異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最長で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。 **詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/>**